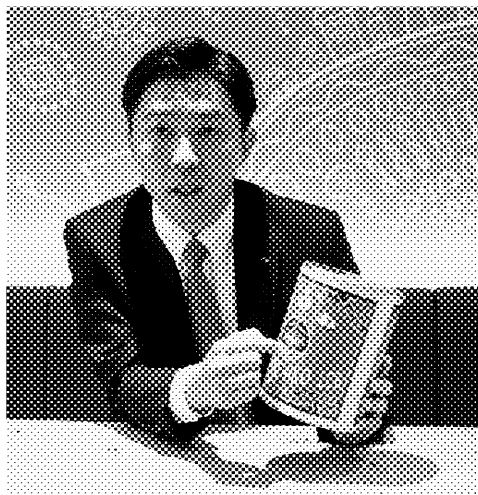


勝機をつかめ! 地域のグッドカンパニー

奥野製菓工業

表面処理「レシビ」に見

奥野製菓工業（大阪 売上高の7割以上を占
市中央区、奥野和義社 める表面処理は、目的
長）はメッキ薬品などの特性を引き出すべく
を手がける表面処理、材料を混ぜる「レシ
ガラス材を扱う無機材「ピ」にノウハウがあ
料、食品という三つの」と奥野直希取締役
事業分野で展開する。は強調する。



ベーキングパウダーについて
説明する奥野取締役

3事業分野 新規・応用力磨く

この強みを支えるの 祖業の食品事業は成
が研究開発能力。従業員 長への足がかりにもな
員の約3分の1は研究 得る。新規事業とし
員だ。生産体制も強化 て、農業や水産業への
しており、2025年 展開を視野に入れる。
12月にはメッキ薬品の 「例えば養殖の餌の添
新工場を竣工する予 加剤に、膨張剤などの
定。「本格的なクリー 知見を応用できるの
ンルームを備え、パワ はないか」（新事業推進
ー半導体なども処理で 部の星野勇介課長）。
きるようになる」（奥 野取締役）という。 通して求められる「世

一方、同社の源流は の中になく商品を開発
食品事業。前身である する能力」（奥野取締
奥野清商店が1922 役）を磨き、25年には
年に初の国産ベーキン 22年3月期比1.4倍
グパウダーを製造。今 の売上高400億円達
も膨張剤を販売する。 成を目指す。

地本真世・新事業推進部長 アットホ
ームな社風が特徴。部署を問わず、誰でも
新たな挑戦に取り組む環境ができている。

▽設立44年（昭19）10月▽従業員44
7人▽売上高277億円（22年3月期）